

くらしいきいき教室

デイサービスセンター木もれび 伊藤聖史

くらしいきいき教室について

専門的なサービスを短期集中して提供
生活機能を向上して「卒業」を目指す

通所と訪問を組み合わせる

くらしいきいき教室について

訪問と通所を組み合わせることで



実際の環境、動作、状況の変化、人間関係が見える



卒業後の生活をイメージしやすい



より具体的なプログラム立案が可能

くらしいきいき教室について

支援の流れ

事前訪問→体験利用、初期評価→課題抽出

地域生活応援会議→フィードバック→利用開始

事例紹介

利用者 Aさん 要支援2

くも膜下出血後遺症(軽度右麻痺、構音障害)

歩行状態 屋内は伝い歩き

入浴動作 またぎや浴槽内の動作に要介助

特養に入所していたが、現在は息子と同居

事例紹介

利用者 Aさん 要支援2

目標

独りで入浴ができる

独りで外出ができる

(買い物や美容院、交流が出来る場所)

支援内容

住環境の調整（フロ、玄関周り）

自宅で取り組む運動の指導

外出機会の確保

（包括、シルバー人材、PT、喫茶店、通いの場が連携）

実施方法

訪問

屋内、屋外環境の確認

外出、生活状況の把握

家族や人間関係の把握

通所

ADL動作

入浴動作や起居動作など

小集団での体操、筋力強化

自宅での取り組みを指導

支援のポイント

実際の住環境をディで再現



専門職と入浴スタッフで情報交換



支援のポイント

外出機会をどう確保するか？



専門職とシルバー人材で情報交換



実用的で卒業を見据えた歩行練習



成果について

今回のケースは6ヶ月で「卒業」

近所の喫茶店や通いの場へ週に1-2回外出

まとめ

課題が解決されれば、介護保険から卒業



身体機能、生活機能の向上
人的ネットワーク、周辺環境を調整

終わり

ご静聴ありがとうございました。